

シニアライフ・コンシェルジュ
おすすめスポット



オオタカの子育て

園内にはオオタカが生息しており、ここ数年はヒナも誕生している。巣は園路からは見えないので、カメラを設置して24時間録画し、生体の調査に役立っている。



おろちの松

令和元年の台風で倒れてしまった樹齢約300年の松。樹のダイナミックさ、根の力強さなど、自然の樹木の姿を見て欲しいという理由から現在もそのままの状態にしている。



都会のオアシス

大都市・東京の中心部にありながら、いまなお豊かな自然が残る貴重な森林緑地。東京ドーム4.2個分ほどの敷地面積を持つ。

自然教育園

- 所在地 / 港区白金台5-21-5
- 最寄駅 / JR山手線・東急目黒線「目黒」より徒歩9分、東京外口南北線・都営三田線「白金台」より徒歩7分
- 開園時間 / 9月1日～4月30日午前9時～午後4時30分、5月1日～8月31日午前9時～午後5時(入園は午後4時まで)
- 休園日 / 月曜日(ただし祝日・休日の場合は開園し、火曜日が休園)、祝日の翌日(ただし土・日の場合は開園)年末年始(12月28日～1月4日)
- 入園料 / 一般・大学生320円、65歳以上および高校生以下は無料
- ※障害者の方とその介護者各1名は無料となります
- ※友の会会員、リピーターズパスをお持ちの方、みどりのバスをお持ちの方、賛助会員、大学パートナーシップ入会大学の学生及び引率の教職員、学校等の引率の教職員は無料で入園できます
- ※5月4日(みどりの日)、5月18日(国際博物館の日)、11月3日(文化の日)は入園料が無料です



四季折々の植物が楽しめる路傍植物園では、11月末から12月上旬にかけてイロハモミジが見事な紅葉を見せてくれる。

展示などを行う教育管理棟
65歳以上は無料(要証明書)で入園できることから、のんびり散歩をしたり、ベンチに座って食事をしたりするシニアの方が非常に多いのだとか。春は桜、夏は新緑、秋は紅葉を愛で、冬には葉が落ちた落葉樹に来る野鳥を目がけて多くのバードウォッチャーが訪れると言います。

また、自然教育園は教育施設という側面も持っています。季節が変わるたびに来園して四季について学ぶ近隣の小学校や、入園者を



植物だけでなく、園内には野鳥も。カワセミ(写真)のほか、カルガモやサギ、シジュウカラなど、さまざまな鳥たちに出会える。



自然に親しみ、自然をより深く理解してもらえようさまざまな学習支援活動を行うほか、企画展示も定期的に開催している。写真は白金自然写真クラブの会員が園内で撮影した写真の展示会の模様。

ジで確認してみましよう。
生い茂る緑に身をゆだね、深呼吸してしばし日常から離れてみてはいかがでしょう。



園内のシンボルの一つ、物語の松。江戸時代の松平譜岐守の下屋敷の面影を伝える松で、近くのひょうたん池などと共にここが回遊式庭園であったことを彷彿とさせる。

豊かな自然が残る空間
港区白金台という都内有数の一等地に、自然本来の姿を感じられる広大な森があるのをご存じでしょうか。今から400～500年前、この地は豪族の館でした。江戸時代には高松藩主松平頼重の下屋敷、明治時代には陸海軍の火薬庫、大正時代には宮内庁の白金

対象にした日曜観察会や自然史セミナー、子ども自然教室などを積極的に開催。正門近くにある教育管理棟の展示ホールでは、園の成り立ちや自然を紹介する常設展示と、定期的に展示内容が変わる企画展示があります。企画展示のスケジュールとテーマはホームページ

御料地となり、一般の人が中に入ることはほとんどなかったのです。そのため、都内でも数少ない自然豊かな森が残され、現在は国立科学博物館附属自然教育園として人々を迎え入れています。



一方、来園者の方がお歩きになるエリアには、路傍植物園、水生植物園、武蔵野植物園を設け、それぞれのテーマに沿って手を加えています。山野の道端に生育する野草類が見られる路傍植物園、水辺に生育する植物の宝庫である水生植物園、武蔵野の草原や雑木林を残した武蔵野植物園など、昔ながらの自然を直接感じていただけるのが当園の特徴ではないでしょうか」と原田さん。

シニアライフ・コンシェルジュが案内する
都内の名処



天然記念物および史跡

国立科学博物館附属

自然教育園

CHAPTER
15

東京に観光名所は数あれど

あまり知られていない

穴場スポットは数多く存在します。

そんな「都内の名処」を、隔月で

シニアライフ・コンシェルジュ

藤野政史がご案内します。

今月は、JR目黒駅より

徒歩9分の場所にある

「国立科学博物館附属自然教育園」

に出掛けてみましょう。



ふじのまさみ
藤野政史

グローバルライフ株式会社
代表取締役
シニアライフ・コンシェルジュ
シニア世代の皆さまが楽しく、
笑顔で、遊び、学ぶ、集う会
「グローバルライフクラブ」を運営。

「都内の名処」を募集中!

グローバルライフクラブ 検索

0120-70-0202

今回はこの自然が残る貴重な森を、専門職員の原田さんの案内で巡りましょう。

「当園は全域が天然記念物および史跡に指定されており、私たちに課されたミッションは自然を残すということですが、園内には一般の方が立ち入れない特別保存地区を設け、敷地の約半分は基本的に人の手を入れていません。ほかにも、自然を保護するために入園者数は常時300名を超えないようにするなど、できうる限りのことをしています。